

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kidsドロップ			
○保護者評価実施期間	令和7年12月 3日		～	令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年12月 3日		～	令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・どんなお子さんでも受け入れをさせていただく ※支援の難しさでのお断りはしていない	・1人1人に寄り添った支援をおこなうために、活動を工夫している ・難しい方の支援方法や対応についてはご家族や学校担任とも相談し、最善の方法を探っている	・ご家庭・学校・他事業所との連携を密にして必要な支援を探り実践し、全職員で統一した対応ができるように、振り返りの研修を繰り返しおこなっている
2	・保護者支援について	・連絡帳や帰宅時の報告の際に保護者への対応を丁寧におこない、相談があればその都度応じている	・保護者からの学びを大切に、新しくご利用をされる保護者からの相談に対してアドバイスをおこなっている
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業所との併用が少ない ※将来的に改善	・併用が少ない分だけ、月に1回程度のお断りや利用日の変更の協力をお願いしている ・新規利用者の募集を停止している状態だが、必要とされている方はいらっしゃるので申し訳ない	・高等部の卒業を待つだけでなく、職員の支援力・技術の向上は必須(研修等)
2	・職員1人1人の支援力・技術不足	・全体的な底上げをしているが、対応の難しい子どもの対応ができる職員に限られてしまう ・「子ども最優先」が理解できていない	・子どもの気持ちや立場に立って物事を考えられる職員の育成 ・子ども1人1人に合わせた伝え方の習得
3			